



- 甲府やまなみクラブ会長主題：Think Globally Act Locally 藤原 一正
- あずさ部長主題：よい結果をもたらす心の安定と考える力を 森本 俊子（長野）
- 東日本区理事主題：未来のために今、学びと気づきを、未来のために、
自信を育み、真の喜びに出会う！ 山田 公平（宇都宮）
- アジア太平洋地域会長主題：変革のための光となろう 利根川恵子（川越）
- 国際会長主題：輝かそう、あなたの光を Ulrik Lauridsen（デンマーク）

甲府やまなみ
ワイズメンズクラブ
2023年 7月
No.10

●今月の強調目標
キックオフ
P R

●今月のことば
「互いに赤心を披(ひら)くこと」

『氷川清話』勝海舟

土橋 順 君選

今月の例会案内（第10回）

- 日時：2023年7月8日（土）18:30～20:30
- 会場：藤村記念館・魚そう北口分店
- 司会：米山 俊彦 君
- 〈総会〉藤村記念館 17:30～18:00
 - ・開会点鐘 藤原 一正 会長
 - ・会長挨拶 藤原 一正 会長
 - ・今月のことば 土橋 順 君
 - ・定期総会
 - 議長 藤原 一正 会長
 - 前年度事業報告・会計報告・監査報告
 - 新年度事業計画・予算案
 - ・ハッピーバースデー&アニバーサリー
 - ・諸報告
 - ・閉会点鐘 藤原 一正 会長

〈懇親会〉魚そう北口分店 18:30～20:00

Photo
of
monthly



6月3日(土)・4日(日)、やまなみクラブとしては初めての、東日本区大会に出席、晚餐会でメンバー紹介(於:アピオ甲府)

6月のデータ

会員数:12名 例会出席:7名
メーキャップ:1名(渡邊-役員会)
例会出席率:58% 修正出席率:67%

ハッピーバースデー

メン 松本 公夫 (7/23)
パートナー 遠藤 友美 (7/14)

アニバーサリー

該当者なし

今月のことば

土橋 順君

これは、勝海舟が談判(=対話)の作法について述べた言葉です。赤心とは「飾りのない、まごころ」を意味します。勝海舟は次のように続けます。

「即ち野暮を言わず、相手に対する敬礼を失わないことが談判の作法」

仕事柄多くのトラブルに接しますが、トラブルの前提にはコミュニケーションのすれ違いがあるように感じます。そして、近年、コミュニケーションツールの変化による、コミュニケーションのあり方の変化を感じずにはられません。

この言葉は勝海舟が明治30年頃に過去を振り返って述べた言葉ですが、時代を超えて、現代を生きる私たちに問いかけてくるようです。

●●●● 会長メッセージ ●●●●



「Think Globally Act Locally」

会長 藤原 一正

ワイズメンズクラブの新年度を迎えました。やまなみクラブとしても初めてのキックオフです。

会長主題を「Think Globally Act Locally」とし、以下の方針を掲げました。

① 例会の充実

毎回内容の濃い例会とすることで参加者の満足度を高めて、有意義な時間を過ごせるようにしていきたいと思ひます。

② 地域の若者の育成支援を強化

学習支援プログラムの提供(やまなしグローバルフェスタ2023の企画運営など)を山梨県立青洲高校の学生さんをお願いして実施していただく。

③ ボランティア活動を通じて地域社会の力の向上

YMCA活動のサポート、キャンプやアクティビティなど活動のサポート、地域のイベントやフェスティバルへの参加(YMCAバザー、チャリティーランへの参加等)

④ メンバーシップの拡大と維持

メンバーシップ募集キャンペーンの実施、定期的なメンバー向けイベントやネットワーキングの提供、メンバーの意見の集約

以上、よろしくご協力お願い致します。



第25回山梨YMCA
インターナショナル
チャリティーラン

今回で25回目となる山梨YMCAインターナショナルチャリティーランが、6月10日(土)小瀬スポーツ公園補助競技場で開催されました。天気予報が心配でしたが、運良く絶好のチャリティーラン日和となりました。

開会式では、山梨YMCAのチアダンスクラブのこどもたちや山梨学院大学のダンス部から30名ものパフォーマンスがあり、同大学の川上琴美教授の指導のもと、準備体操が行われました。

レースはコロナ禍の間は競技場内だけで行われていましたが、今年是一般の部は競技場の外周をリレーする本来の方式が復活して、チャリティーランらしい光景が繰り広げられました。

閉会式では当クラブの松本公夫実行委員長から、

中田純子山梨YMCA総主事へ、2,355,000円の支援金小切手が贈呈されました。

やまなみからは、実行委員長の松本さん、藤原会長、米山さん、大澤さん、仙洞田さんが運営奉仕のお手伝いとして参加しました。

また、クラブとして10,000円分の精肉券(5,000円×2口)を、会員の企業として遠藤さん(山市成工)、三井さん(サンテック)、仙洞田さん(仙洞田建築工房)が支援金でそれぞれ協力しました。

なお6月19日(月)に実行委員会(反省会)が開催され、今大会の検証と評価、次回への提案等が話し合われました。

《チャリティーランの記録》

- ・チーム協賛 59団体
- ・支援金 30口
- ・物品提供(抽選会景品等) 16団体
- ・協力ボランティア 15団体・192人



【開会前:やまなみメンバー集合】



【閉会式で“小切手”を贈呈する松本実行委員長】

▼ 東日本区大会(6月例会)報告 ▼

米山 俊彦

6月3日・4日と2日間にわたりアピオ甲府で開催された「第26回東日本区大会」の6月3日のセッションに参加をしました。

東日本のワイズメンズクラブから多くの皆さんが、『かふふ・く』「あなたの置き忘れたものを、取りにきてください」というテーマのもと山梨で一堂に会し、様々な交流を深めることで、文字通り“甲府に来て幸福になれた”素晴らしい大会だったと思います。

大会の後に、参加者から寄せられたワイズメンズクラブのメーリングリストに送られたメッセージでも、亡くなられた会員を偲ぶメモリアルアワーに感動したなど、感謝の言葉と大会へ参加できて良かったという感想が寄せられていました。

また、大会の前にオープニングセレモニーとして素敵なハンドベルの演奏と合唱を披露され、大会に華を添えていただいた山梨英和高等学校聖歌隊の皆さんには、改めてお礼を申し上げたいと思います。

そして、ホストクラブである甲府21クラブをはじめ、今大会の開催のためにご尽力をされた方々に心から敬意と感謝を申し上げます。

大会一日目は、理事報告、代議員会報告、各部長報告、各事業主任報告と続き、その後の講演会では、俳優の石丸謙二郎さんによるユーモアたっぷりの軽妙なトークショーで、大いに楽しませていただきました。

ユースアワーでは、山梨YMCAリーダーによる活動報告と松本クラブが支援する留学生の報告がありました。新しい時代を担う若い人達が、YMCAの活動を通して、沢山の事を経験し、学んで成長していく真摯な姿に感動しました。

また、マレーシアとベトナムからの留学生の報告では、遠く祖国を離れ日本で勉強をする事への意欲と自分の国を大切に思い、日本との交流の橋渡しになりたいとの熱い思いに心を打たれました。

その後の晩餐会では、クラシックやポップラー音楽

演奏、それに仙台のワイズメネットによる人形劇など、多彩なアトラクションを楽しみました。

私は、宮城県から参加された方とテーブルが同席になり、お話をすることができました。ビールの量が増えていくのに伴って話も弾み、ここには書けないような話(?)まで出て、大いに盛り上がり、来年の北海道での再会を約束(?)してしまいました。

いずれにしても、普段、なかなか会う事のできない遠隔地の会員との交流により、親睦を深められた楽しいひと時になりました。

〈大会二日目〉

仙洞田安宏

大会二日目は、表彰と役員引継ぎ式がメインプログラムです。表彰でやまなみは、私が「新入会員獲得最優秀個人賞(6人)」を、藤原さんが「新入会員獲得優秀個人賞(3人)」を、クラブとしては「使用済み切手収集協力賞」を受賞しました。また、甲府クラブの鈴木健司さんが荣誉ある「東日本区奈良傳賞」を受賞されました。

やまなみからの参加者は、藤原・仙洞田・福田(二日間)、大澤・遠藤(恭範)・松本・米山(一日目のみ)の皆さんでした。

なお、一日目は早朝から、遠藤さんと米山さんが甲府駅頭で参加者の案内を、藤原さんと私が、会場受付のお手伝いをしました。

役員会報告

チャーター以後、初めての年度の切替えにあたり、これまで例会の中で行っていた役員会を、初めて単独で開催した。旧年度の報告と新年度の計画について協議した。

▼日時:6月21日(水) 18:30~20:00

▼場所:山梨YMCA&ZOOM

▼出席者:松本・米山・遠藤(恭範)・渡邊・仙洞田/藤原(ZOOM)

▼主な協議

・2022-23年度の事業報告、決算報告の確認と承認の件

・2023-24年度の事業計画、行事予定、役員構成、予算案の承認の件

・クラブの施行細則(慶弔規定、基金規定)制定の件

・7月8日開催の「やまなしグローバルフェスタ2023」の準備状況を共有した。

・7月例会(総会)は、グローバルフェスタ終了後行い、その後懇親会とす。部分参加可とする。





山梨 YMCA 総主事

中田 純子

守られているチャリティーラン

6月10日(土)、第25回インターナショナルチャリティーランを開催しました。3月17日から5回の実行委員会にはワイズメンズクラブの皆様にもご参加いただき協議を重ね実施することができました。台風の影響もあり大雨の前日、25回開催した中で中止は一度もない事実を信じ、職員一同、晴れる事を想定し前日には準備で忙しい一日を過ごしておりました。

昨年は開催時刻3時間前から本降りの雨となり、総主事として判断を委ねられる、あわやの場面を記憶しております。しかし雨が小雨となり、開会式が始まると雲の隙間から一筋の光が差し込み、これこそが神様に守られていると、喜びを隠せなかったチャリティーラン、今年は早朝から実施と断言できるほどの天気となり、神様に守られていたことに喜び感謝する

時となりました。

コロナ禍の中、会員のみ参加のチャリティーランを実施してきた3年間から、今年度は0才からの宝拾い、リレー形式の小学校低学年の部、小学校高学年の部の実施、大人の部は以前の競技内容に戻し1.1kmを走るリアルランとして開催。困難の中から生まれた新しい形の山梨YMCAチャリティーランに「FORALL」が表現され開催できましたことに感謝申し上げます。

会場部、レース部として協力して下さったワイズメンズクラブ、メネットの皆様にも感謝いたします。協賛企業、団体、大学、高等学校、チアダンスチーム、フライングディスク協会の皆様へも深く感謝いたします。そして、子ども達へのサポートに始まり、運営に協力してくれたスタッフにも感謝いたします。次回、第26回の開催に向けて、神様の豊かな恵みに守られるように、祈りの時を守りたいと思います。



会員短信

✓松本公夫さん

日本YMCA同盟から、25年継続会員表彰を受賞しました。(6/24・山梨YMCA定時総会にて)

✓藤原一正さん

ワイズメンワールド(国際協会発行機関誌)の翻訳グループの委員に任命されました。

諸連絡

✓会計より 前期クラブ会費を7月、8月例会で集金しますので、ご持参下さい。(メンバー:15,000円、担当主事:2,000円)

行事予定

✓7月10日(月)

前期半年報提出締め切り(部長へ)

✓7月15日(土)

あずさ部第1回評議会(高尾の森わくわくビレッジ)

✓7月26日(水)

役員会(18:30・山梨YMCA)

✓8月2日(水)

8月例会/あずさ部長公式訪問(シャトレゼホテル談露館)

✓8月15日(火)

前期区費納期